

## 別紙

県では、フードロス削減プロジェクトとして「令和5年度第2回茨城県リサイクル飼料化研究会」を開催し、食品残渣の飼料化について協議しました。

1 日時 令和6年2月27日（火）10:00～12:00

2 協議事項

(1) 令和5年度の実績及び令和6年度の実績について

ア 県環境政策課

- a カット野菜（ブロッコリーの茎・花、ニンジンのヘタ・先端）の乳牛給餌実績（R5）
- b カット野菜（ダイコンのヘタ・先端・皮）の乳牛給餌テスト、分析（R5）
- c 干しいも未利用部分の活用（干しいも資源循環モデル形成支援事業（補助金））（R5）
- d 食品残渣のリサイクルに取り組む事業者の支援（補助金）（R6）
- e 飼料にリサイクル可能な食品残渣の候補（R5、R6）

イ 県畜産課

- a 飼料国内自給化緊急対策事業（R5）
- b 食品残渣のマッチング支援（R5、R6）
- c 畜産農家へのエコフィード活用状況のアンケートの実施（R5）
- d 食品残渣飼料化業者の実態調査（R5、R6）
- e cを元にエコフィード希望農家への詳細聞き取り調査及びマッチング支援（R6）

(2) 出席事業者の実績について

ア 株式会社エコハイテクコーポレーション

- ・食品残渣飼料化分析用検体作製

イ 株式会社せき

- ・有機資源循環スキーム

3 結果

- ・引き続き、カット野菜や干しいも未利用部分等の食品残渣の飼料化について、調査や分析を行うこととした。
- ・さらに、食品残渣の飼料化等リサイクルに取り組む事業者への支援、飼料にリサイクル可能な食品残渣の掘起し、飼料化成功事例の継続及び横展開、及びエコフィードの利用を希望する畜産農家とのマッチングを進めることとした。